

吉田寮主催シンポジウム・交流会における ハラスメント対応について

吉田寮裁判報告集会実行委員会(集会実)

2023年9月の吉田寮イベントにて性加害が発生しました。また、残念ながらその後の食堂イベントにおいて、この件に関する二次加害が発生しました。この場でさらなる二次加害的な言説が見られた場合は主催者側として止め、聞き取りを行うという対応を取ります。また、この問題のみならず交流会の場では、差別など不当な暴力を行わないことを意識しましょう。

誰もが被害者にも加害者にもなりうるということに気をつけ、自らの言動が他者を侵害していないかを考えましょう。また他者からハラスメントを指摘されたときにはまずは立ち止まり真摯に訴えを聞きましょう。私たちは何か問題が生じた時は、当事者の頭ごなしに決定するのではなく、当事者間での話し合いによる解決を目指しますが、これは問題が起きたときに一人で抱え込むことを求めるものではありません。ことハラスメントの問題に関しては、被害者が直接問題を提起したり加害者と話すことが困難な場合もありえます。何か気になることがあったり、一人で対処が難しい場合は、集会実スタッフまでお声かけ下さい。

「自治」を続けるためには、自分たちの内部にある問題にも向き合い、自分の周辺で起こった問題に対しても当事者意識を持って関わるのが不可欠だと考えます。自分たちの場の作り方について考え、検証し、より良いものとするために取り組みたいと思います。誰かが不当な目に遭っているのを目撃したら、SOSを聞いたら、助け合う文化を作っていきたいと思います。

意見の違いは表明しても構いません。批判は、より良い場を作っていくために重要です。しかし、表明した内容の中に、嘘や差別、偏見が含まれていても良いということではありません。

「言動に対する批判」の程度を超えた、揶揄、貶め、差別などの不当な暴力は認めません。

以上